

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 国際交流推進事業
-------------------	-----------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大
小分類	1	地域国際化の推進
主要な施策	1	国際交流の推進（海外友好都市）
事務事業番号	002	事務事業コード 62211002 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別 一般会計	予算書上の事務事業名 国際交流推進事業費
-----------	----------------------

部 名 総務部	グループ名 政策推進室企画 G
---------	-----------------

統合前または名称変更前の事業名

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民及び市内の国際交流団体
手 段 (事 業 の 内 容 ・ 活 動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 登別市の国際交流を推進するため、市内の国際交流団体と連携しながら「国際理解講座」を開催するほか、市内の国際交流団体が受け入れる「研修生等への支援」や「国際交流団体との意見交換」、「通訳ボランティアの登録制度」を行っている。また、友好都市協定を締結している海外都市との交流を推進する。 【平成 2 1 年度の事業実施内容】 ・平成 2 1 年 1 0 月 1 3 日 登別市の国際交流の現状に対する意見交換や国際交流団体の情報交換を行った。 ・平成 2 1 年 8 月 2 1 日～ 9 月 1 9 日 登別デンマーク協会招へいのデンマークからの研修生来登に伴う支援を行った。 ・平成 2 1 年 1 0 月 2 3 日～ 1 0 月 2 6 日 退任するサイバン市長に対し、友好交流への尽力に敬意を表するため、市長が表敬訪問を行った。 ・平成 2 2 年 2 月 1 日～ 2 月 5 日 サイバン市の中学生 1 1 名・引率者 3 名が来登。登別中学校、コロボックルの森、S L G との交流、サンライバスキー場で雪体験、湯まつり見学、市民交流パーティを実施。 ・国際理解講座の開催 平成 2 1 年 8 月 2 8 日・9 月 1 8 日 デンマーク料理教室 平成 2 1 年 9 月 4 日 デンマークの高齢者福祉の現状について 平成 2 1 年 1 1 月 1 6 日 中華料理（餃子づくり）教室 平成 2 2 年 2 月 3 日 サイバン市紹介
目 指 す 姿 (成 果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 市民に多くの異文化交流の機会を提供し、国際理解や国際協力を深めることを通じて、登別市の国際交流の推進を図るとともに、地域の国際交流を進めるために、市民、国際交流団体、行政による交流を推進する。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 平成 1 9 年 6 月 1 0 日 ファボー・ミッドフュン市との友好都市協定書 平成 1 8 年 1 1 月 2 0 日 サイバン市との友好都市提携同意書

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	講座等の参加者数（年度ベース）	人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	171				
	市民・児童生徒等との交流（年度ベース）	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,098				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	594	698	248	248	248	744
合 計				594	698	248	248	248	744
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	529	554			
			嘱 託 員	千円	904	992			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		1,433	1,546			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 海外の友好都市と交流することや市民に異文化を体験する機会を市が提供し国際交流を推進することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ サイパン市からの中学生や国際交流団体が招へいしている研修生と市民との交流が図られている。また、国際交流団体と連携し、国際理解講座を開催していることにより市民の異文化に対する理解が得られていると考える。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 友好都市提携に基づき、継続的に交流の機会を設けることにより、成果の向上が見込めると考える。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 最小限の経費で当事業を実施していることからコスト削減は困難である。

担当グループによる評価

改 善	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成18年11月20日締結したサイパン市との友好都市提携同意書及び平成19年6月10日締結したファボー・ミッドフン市との友好都市協定書に基づき、両市との友好交流を推進していくため、当事業を継続する必要がある。また、国際交流団体との意見交換や情報交換を行うなど連携を強化していく。サイパン市との交流については、市民が主体となって交流するよう市民団体の設立に向け、検討していく。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

改 善	備考	担当グループの案通り改善を進めるべき。
-----	----	---------------------

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）